

## 2019年短期集中語学研修について（報告）

2019年8月23日から9月17日までの約1か月間、イングリッシュコミュニケーション副専攻を受講した工学部3年2名、経営経済学部3年4名の6名の学生が、イギリスのバーミンガム近郊にある Burton and South Derbyshire College（以下バートン・カレッジ）の短期集中語学研修に参加しました。

事前の学習では、語彙力を増やすだけでなく、文化や慣習についても、自ら進んで調べるなど、学生たちは熱心に取り組み、出発しました。

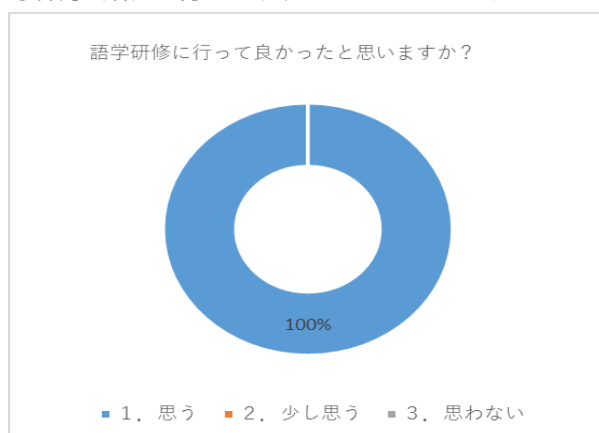
短期留学中は、ホストファミリーの家から通学し、授業では世界各国の学生とともに学ぶ環境に戸惑いながらも、海外での生活を楽しみ、一定の成果を遂げることができました。

授業のプログラムは以下の通りです。

時間	月	火	水	木	金
10:30～ 12:30	授 業	授 業	アクティビティー	授 業	文化体験 トリップ
12:30～ 13:30	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ
13:30～ 16:30	授 業	授 業	アクティビティー	授 業	文化体験 トリップ

### 学生のアンケート結果

#### ①語学研修に行って良かったと思いますか？

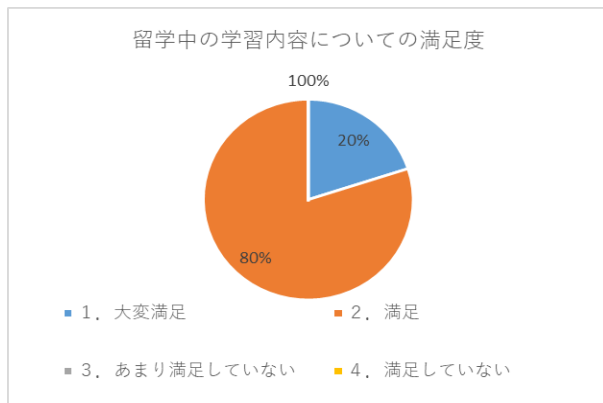


帰国後のアンケートでは、参加者全員が参加して良かったという感想であった。

中には、出発前に不安であるという人もいたが、全員から「参加して良かった」という回答

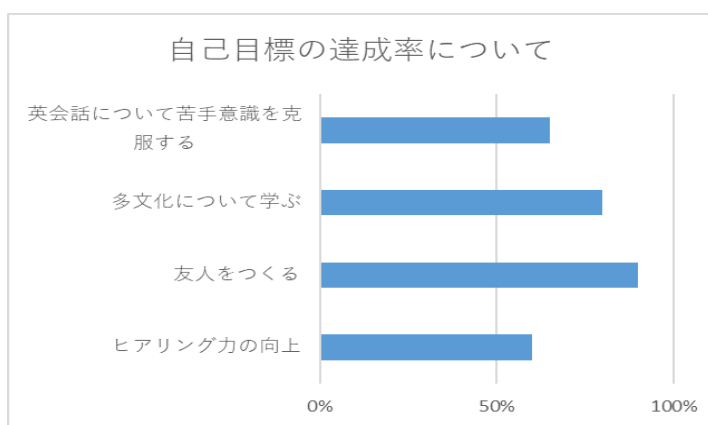
を得られたことは、授業や文化体験等の企画は本学の学生に適していたと考えられる。

## ② 留学中の学習内容についての満足度



バートンカレッジでの学習については、全員が満足している。また、全員がホストファミリーと良好な関係を築けたと回答しており、ファミリーとの会話を通じて満足したものと考えられる。

## ③ 自己目標の達成率



個々に設定した目標に対する目標達成度は平均78%と高く、全ての学生がこのプログラムに満足している。

特に、ヒアリング力の向上においては、ホストファミリーとの会話を通して、ヒアリング力の向上を実感したようだ。その反面、殆どの学生が、多文化に接することにより、自国の文化や歴史について説明ができなかったため、事前学習の必要性を感じていた。

その他、言語や文化の違いに臆することなく、自分の中で変化を感じ、「世界観が変わった」「人として成長することができたと思う」という感想が聞けた。

短い期間ではあるが、留学体験は、将来のキャリアについて真剣に考えるきっかけを与えられたものと考えられる。

#### ④ レベルチェックと評価表

	英語力レベルチェックテスト結果				パートナーレッジ総合評価		【帰国後】学生レポートより抜粋	【帰国後】指導教員の面談記録より抜粋 学生の成長した点		
	CEFR ※基準詳細は下記参照				A+ (最高値)					
	Reading, Grammar		Speaking/ Listening		A	B				
	8月27日	9月12日	8月27日	9月12日	C	D				
学生A	A2	→	A1 ↓	A1	→	A2 ↑	A	・リスニング力が足りないと自覚。行く前に耳を英語に慣らしておくべき。 ・授業では発表が多く苦労したが毎回先生がしっかりと褒めてくれ、自信がついていった。	実践的なやり取り能力が身に着いており、海外での人間関係も築くことができた。	
学生B	B2	→	B1 ↓	B1	→	B2 ↑	A+	・ホームステイ先には小さい子供が居たので、意思疎通をする中でスピーキング力が向上したと思う。	日常会話を越え専門的な英語力を使いこなせるようになっていく。	
学生C	A2	→	B1 ↑	A2	→	B1 ↑	A+	・バスに乗り間違え、遠くに行ってしまった。英語を話すことに躊躇していらなくなり、それからは自分から話題を振ったり積極的に話すようになった。	学んだ事を活かし、他学生の模範となるような学生に成長している。	
学生D	B1	→	A2 ↓	A2	→	B1 ↑	A	・ホストファミリーとの会話が何よりも英語スキルの上昇に繋がった。そして毎日ホストマザーの料理が美味しく楽しくて楽しかった。	留学経験を最大に活かし自分の可能性を広げることが感じられる。	
学生E	B2	→	B2 →	A2	→	B1 ↑	A	・自分のボキャブラリーの少なさを悔やんだ。 ・自分が一番学んだことは文化の違いを実感したこと。もともと国内外に興味を持つことが大目。	本学で培った人間力を留学中においても発揮しており、国際的な活躍が期待できる。	
学生F	B1	→	B2 ↑	A2	→	B1 ↑	A	・イギリスの方の優しさに触れることが出来、日本に取り入れた方が良いかと思う文化や習慣があり、たくさん気づきがあった。 ・多くの友達が出来、泣いて別れを惜しんだ。	留学を機に日本文化についてよく考え、良さを世界に発信したいと思うようになり心の成長も感じられた。	
※CEFR										
(セファール)	ヨーロッパ全体で外国語の学習者の習得状況を示す際に用いられるガイドライン。									
高い	C2	聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。母語話者と遜色のない熟練者								
↑	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。優れた言語運用能力を有する者・上級者								
	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な種類の複雑なテキストの主要な内容を理解できる。実務に対応できる者・準上級者								
	B1	仕事、学校、娯楽、で異文化出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。習得しつつある者・中級者								
	A2	ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文法表現を理解できる。学習を継続中の者・初級者								
低い	A1	学習を始めたばかりの者・初学者具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と言い回しは理解し、用いることもできる。								

留学した直後と帰国前にレベルチェックテストを実施した。

その結果、Speaking と Listening の向上は顕著であった。Reading と Grammar は、長期間に渡って定着するスキルであることから、今回の短期間の学びでは、明らかな向上は見られないものの、Speaking と Listening のスキルを伸ばすことで、相乗効果として向上が期待できるものと考えている。